

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成18年10月10日
第717号

〒952-1209 佐渡市千種155
：0259(63)4156(直) 4115(代) Fax：4117
<http://www.sado.co.jp/kanaisyo/> E-mail：kanal es@sado.ed.jp



朝晩の涼しさや虫の声に、秋を実感する今日このごろです。秋といえば「 の秋」です。学校では子どもたちが、マラソン大会や文化祭に向け、練習や準備に張り切って取り組んでいます。どうか当日が秋晴れに恵まれますように。

知情意

中央福祉相談センター
清水 章雄

「智(知)に働けば角が立つ。情に掉させば流される。意地を通せば窮屈だ...。」

夏目漱石の「草枕」の冒頭の一節です。心を表す言葉として「知情意」という言い方があります。知とは知識、理屈。情とは人情、感情、情緒。意とは意志、意思。などと表現されます。

乳児は泣くことで欲求を表現し、母の適切な対応により満足感、心地良さを得ることで、情緒の芽生えにつながります。その後周囲への興味から知が芽生え、その広がりを目指す意志が働きます。このように知情意と心が発達していくと考えられます。

実際に人間の脳の、機能の役割における体積比は知65%、意35%、情5%となっているようです。まさに現代社会の傾向のように知ばかりを求め、頭でっかちになりがちです。

小さいころから情緒をしっかりと芽生えさせ、情の結びつきを強化していくことが大切です。

仕事、学習、家庭、仲間、趣味など毎日を知情意のバランスをとり、豊かな人生にしていきたいものです。



次年度担任への引継をしっかりと

～佐渡地区特別支援教育研修会より～

佐渡地区においても、特別支援教育に関する研修会が充実してきました。先月、東北大学附属病院の横山浩之先生のご講演があったばかりですが、今回は8月にありました、前高等養護学校長の尾方洗先生による「特別支援教育への動向と児童生徒への支援の在り方に関連して」のご講演について紹介します。

お話の中で特に印象に残ったのは、「担任が変わると、子どものことを、また一から説明しなくてはならなくて大変だ」という保護者の声です。担任としては、保護者からじかに子どものことを聞きたいと思うのは当然だと思います。しかし、保護者の身になって考えると、「学校はこの子のことをしっかりと把握しているのか」と、再三の説明の大変さよりも、学校としての体制に疑いや不満をもつのではないのでしょうか。

学校では、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成して、校内体制で、または、関係機関と連携して継続した支援ができるように取り組んでいるところです。今後は、これらの計画を基に、引継が確実にされることになると思います。

通級指導教室としても、担任への引継をしっかりとしていかなければならないと反省した次第です。(石見)



聴覚障害者の社会的地位・役割の向上を目指す教育 ～下越地区公立学校盲・聾教育研修会より～

講師の大塚明敏先生（元金沢大学教授）は、聾教育の目標を大学院進学や就職など高いところにおいて日々指導・支援を続けなければならないと熱く語っていました。子どもたちが正しい日本語を習得し、自分の伝えたいことを話したり書いたりできるようにすることが進学や就職への第一歩だとのこと。そのためには、まだ読み書きができない小さいうちから、正しい日本語の表現に十分浸らせることが大切なのだそうです。

家庭でもできるやり方は「絵日記」だそうです。その日の出来事の中から一つ選んで、母親が絵と文章で詳しく表します。それを子どもに読み聞かせます。自分の経験した内容は、こんなふうに表現されるのだということを繰り返し頭に入れていくわけです。そのことを毎日続け積み重ねていくことによって、子どもは日本語の正しい表現の仕方を学び、やがては自分で文章を書けるようになるということです。大塚先生は「絵日記」の実物（スケッチブック）を見せてくださいました。

このやり方は、耳からの情報が入りにくい子ども、ことばの数が増えにくい子どもなどいろいろな子どもへの支援に役立つと思いました。（高原）

お知らせ



判定委員会の報告

9月20日（水）、金井小学校校長室にて第1回判定委員会が行われ、計33名の入級が認められました。
判定委員の皆様、ご多用の中、ありがとうございました。

親の会コーナー



9月18日（月）の敬老の日に、苔梅の郷公園で親子ハイキングを行いました。ボランティアや職員を含め、総勢77名が参加しました。当日は晴天に恵まれ、フィールドゲームや宝探しをしたり、青空の下で野菜たっぷりのカレーを食べたりして楽しい一時を過ごしました。ボランティアの皆さん、大変ありがとうございました。参加者の感想を紹介します。



保護者

初めて参加しましたが、お天気もよく、楽しい一日を過ごすことができました。子どもたちもお外で食べるカレーがとてもおいしかったようで、あっという間に完食していました。先生方、ボランティアの皆さん、ありがとうございました。

思った以上に暑かったのが予想外でしたが、フィールドゲームでは、親子で歩いて回って楽しかったです。子どもは宝探しゲームが楽しかったみたいです。

ボランティア

いろいろな性格の子どもがいて、一人の人間として、もう個性が出てきているんだなあと感じました。お子さんのパワフルさについていけるおうちの方もすごいと思いました。少し街を出るとこんなにいい場所があるなんて、佐渡はいいところだと改めて感じました。

子どもたちや、その家族の方たちとの触れ合いがとても楽しかったです。子どもたちの感性に驚かされました。皆とても素直で優しくて、自分はどうなんだろうと考えさせられました。カレーがとてもおいしかったです。